

○明治二十五年第六六號

裁 決 書

熊本縣玉名郡綠村々會議長

原告

北 原 正 士

右綠村々會議長北原正士ヨリ被告熊本縣知事松平正直ニ掛ル舊南關郷々備ノ利益金毎戸分割ノ決議認可請求ノ件訴狀ニ就キ審査ヲ遂クル處

原告請求ノ要旨ハ舊南關郷々備金ハ明治二十五年來組合町村ノ共有財産トシテ維持シ來リ本年三月ニ至リ組合町村ノ議決ヲ以テ各町村ニ分割シタルハ本村ハ六月十七日ノ村會ニ於テ毎戸ニ分割ス可キ決議ヲ爲シ郡長ノ認可ヲ求メタルニ郡長ハ不認可ノ指令ヲ爲シタルニ因リ縣知事ニ願訴シタルニ縣知事ハ郡長ノ處分ハ相當ナリトノ裁決ヲ爲シタル然レトモ該金圓ハ町村固有ノ財産ニアラスシテ今ヨリ七十年前郷民ノ祖先カ熱血ヲ措リ以テ海岸ヲ開墾シ其地ヨリ年々産出シタル餘米ノ殘額即チ純益

ナレハ其當時ヨリ本郷ニ在住スル郷民ノミ共同私有スル財産ニシテ則チ其勞働者ノ子孫カ恩典ヲ受ク可キモノナリ故ニ其後ニ於テ他方ヨリ移住シタル現今ノ住民ハ總テ所有權アラサルナリ依テ町村制第八十二條ノ制裁ヲ受ク可キモノニアラサルヲ被告カ同制第八十一條第二項ヲ引證シ裁決シタルハ不法ナルニ因リ之レカ取消ヲ請求スト言フニ在リテ七十年來本村ニ在住スル郷民各自ノ所有權ヲ主張スルモノナレハ行政裁判所ニ出訴ヲ許シタル法律勅令ノ規定ナキヲ以テ受理ス可キモノニアラス右ノ理由ナルヲ以テ行政裁判法第二十七條依リ本訴ヲ却下ス

明治二十五年十一月十日行政裁判所ニ於テ裁決ス

(參照)

○町村制

第八十一條 町村ハ其不動産、積立金穀等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スルノ義務アリ

臨時ニ收入シタル金穀ハ基本財産ニ加入ス可シ但寄附金等寄附者其使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此限ニ在ラス

第八十二條 凡町村有財産ハ全町村ノ爲メニ之ヲ管理シ及共用スルモノトス但特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アルトキハ此限ニ在ラス

(十六) 投票開緘請求ノ件ニ對シ去ル九日行政裁判所ニ於テ左ノ如ク判決セリ
○明治二十五年第百十七號

裁 決 書

石川縣河北郡森本村字北森下ル二十
九番地平民農

原 告

木 下 小 三 郎

右原告木下小三郎ヨリ被告水利組合管理者和田三五郎ニ掛ル投票開緘請求ノ件訴狀ニ就キ審査ヲ遂クル處

原告請求ノ要旨ハ明治二十四年八月五日石川縣河北郡花園村役場ニ於テ行ヒタル水利組合議員選舉ノ際被告カ第一辻七兵衛ヨリ提出シタル投票取消願書ハ其宛名管理者ノ文字ナク單ニ花園村長和田三五郎ナリシヲ認メナカラ投票取消ノ趣旨明瞭ナリトテ開票ノ時期切迫ナルヲ察シ之ヲ受領シ其投票ヲ無効トナシタルハ不當ナリ第二

投票取消願ヲ選舉委員ノ意見ヲ聽キ受領シタルトモ本組合規約第三十條ニ投票効力ノ有無ニ付疑義アルトキハ云々トアルモ投票ニ關スル書面ノ正否ニ關シテ選舉委員ノ意見ヲ聽キテ受理スルノ明文ナク共ニ違法ノ處置ナレハ該投票取消願ヲ却下シ其投票ヲ速カニ開緘センコトヲ請求スト云フニ在レトモ其事實ハ管理者ノ名宛ナキモ畢竟投票權アル者之ヲ拋棄シタルニ止マルモノナレハ水利組合條例中出訴スルコトヲ得ルノ規定ナク又他ノ法律勅令ニ於テ出訴スルコトヲ得ルノ規定ナキヲ以テ受理ス可キモノニアラス

右ノ理由ナルヲ以テ行政裁判法第二十七條ニ依リ本訴ヲ却下ス

明治二十五年十一月九日行政裁判所ニ於テ裁決ス

(十七) 貢租前納金下戻不足分請求ニ關スル不當處分取消ノ訴ニ係ル妨訴抗辯ノ件

ニ對シ本月十日行政裁判所ニ於テ左ノ如ク判決セリ

○明治二十五年第五十五號

裁判宣告書

京都府丹後國中郡三重村字森本七十
三番戸平民農

原告 廣野 久右衛門

外四名

東京市日本橋區大傳馬町一丁目二十

七番地寄留京都府士族代言人

訴訟代理人 武 山 助 雄

大藏大臣

被告 渡 邊 國 武

大藏省參事官

訴訟代理人 水 町 袈 裟 六

右原告廣野久右衛門外四名ヨリ被告大藏大臣渡邊國武ニ對スル貢租前納金下戻不足分ノ請求ニ關スル不當處分取消ノ訴ニ對シ被告ハ妨訴抗辯ヲ爲タリ依之ヲ審理スルニ被告抗辯ノ要旨ハ原告等カ明治二十四年十月大藏省ニ提出セシ請求ノ目的タル二千餘圓ノ金額ハ原告等カ陳述スル如ク舊宮津藩ニ於テ徵收シタル貢租前納金ノ下戻殘額ナリ原告等カ提出シタル甲第一號證ニ記載スル如ク舊宮津藩ハ當時財政ノ必要ニ因リ先納金ト唱ヘ貢租ヲ前納セシムル慣例ヲ定メ之ニ依テ毎年貢租ヲ前納セシメ爾後ノ年貢米ヲ以テ差繼下戻ヲ爲セリ蓋此慣例タル舊宮津藩ノ定制ナレハ今日ニ於テ其當否ヲ論スヘキニアラス故ニ明治二十四年十月原告等ノ請求ハ舊宮津藩カ未タ辨濟ヲ終ルコト能ハサリシ下戻義務ノ履行ヲ國庫ニ求メタル者ニシテ租稅ノ賦課トハ秋毫ノ關係ナク又其請求ニ對スル大藏省ノ指令ハ唯下戻ノ義務ナシト謂フノミニシテ貢租前納ノ當否トハ關係ナシ即チ明治二十三年法律第六號第一項租稅ノ賦課第二項租稅ノ滯納トアルニモ該當セス又他ニ行政訴訟ヲ許シタル特別ノ法律命令ナシ尙

租税ノ賦課ト云フコトヲ慥メ置カンニ賦課ナルモノハ徵稅令書ヲ發スル迄ニ限ルモノニシテ其後ノ手續ハ徵收ト云フ者ナリ故ニ貢租ノ前納ヲ不當トスル如キハ徵收ヲ以テ不當トスルモノニシテ即チ本件ノ如キハ來年ノ徵收期ヲ早メタルモノナルニ過キサレハ隨テ二十三年法律第百六號第一項ニ關スルモノニ非サルナリ故ニ本訴ハ排斥アラソコトル要スト云フニ在リ

原告辯駁ノ要旨ハ被告ハ本案ノ事實ヲ誤解シ延ヒテ其誤解ニ由レル事實ニ付理由ヲ按シテ妨訴抗辯ヲ爲スモノナラント雖被告モ承知スル如ク原告共ノ訴訟ハ貢租前納下戻金ノ請求ニ付テノ處分タルコトニ付テハ別ニ異議スル所アルヘキ筈ナシ又原告共カ舊宮津縣ニ納メタル金員ハ貢租タルコトニ付テモ亦異議スル所アルヘキ筈ナシ然ラハ原告共ノ請求ニ付テカ當否ヲ審察セサレハ處分スルコトヲ得サルハ勿論凡ソ租税タル何種ト雖賦課ニ由ラサルモノハ悉クハ無之乃チ原告共ハ舊宮津縣ノ賦課ニ繫ル租税ヲ前納シタルモノナリ故ニ被告ノ申立ハ大ニ事實ニ反スル陳述ナリ原告共

ハ舊宮津縣ノ賦課ニ繫ル租税ハ二重ニ負擔シテ上納シタルヲ以テ明治十九年九月中被告ニ向テカ下戻ヲ請求シ被告ハ採納シテ其二重ニ前納シ有ル金員ハ下戻スヘシトノ命アリシトキ賦課ニ由レル租税タルコトハ己ニ明カトナリ且國庫ノ負擔タルヘキコトモ亦明カトナリシナリ被告ハ明治二十三年法律第百六號第一項ヲ狹義ニ解釋スレトモ原告ハ之ヲ廣義ニ解釋スルモノニシテ本件ハ右法律第百六號第一項ニ依ルヲ得ヘキモノナレハ被告ノ妨訴ハ毫モ其理由ナキモノナリト云フニ在リ

依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件ハ原告甲第一號證ノ如ク舊宮津藩ニ於テ先納金ト相唱ヘ貢租ヲ前納シ其前納金ハ爾後ノ年貢米ニテ差繰下戻相成來リタル慣例ニ從ヒ明治三年先納金ヲ爲シタルニ舊藩ヨリ其後ニ至リ貢米差繰ヲ爲サレハ原告ハ二重ニ租税ヲ納メタルモノナルニ付明治十九年九月中被告ニ向テ下戻ヲ請求シ其下戻ヲ受ケタル不足金ノ下戻ヲ更ニ要求スト云フニ在レハ本訴目的金員ハ當時舊藩會計上ノ都合ニ依リ貢租ノ前納ヲ命シタル結果ニ

係リ即舊藩ノ管民ニ對スル負債ニ屬スル者ニシテ原告ハ當時租税ノ賦課上ニ關シ異議アル者ニアラス又被告ニ向テ租税賦課ノ不當ヲ申立タルコトアルモノニアラサレハ本年五月十八日被告カ原告ニ向テ爲シタル指令ハ租税ノ賦課ニ關スル處分トスルヲ得サルニ付明二十三年法律第百六號第一項ニ該當スル事件ナリト謂フ可カラス又他ノ法律勅令ニ行政訴訟ヲ許シタルモノニアラサルニ依リ本訴ハ之ヲ提起スルヲ得サルモノトス

右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ

本訴ハ之ヲ棄却ス

訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

明治二十五年十一月十日行政裁判所公廷ニ於テ宣告ス

(參照)

○明治二十三年(十月)法律第百六號

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル事件

一 海關稅ヲ除ク外租稅及手数料ノ賦課ニ關スル事件

二 租稅滯納處分ニ關スル事件

(十八) 山林拂下ノ件ニ對シ去月二十二日行政裁判所ニ於テ左ノ如ク

判決セリ

○明治二十五年第百三號

裁 決 書

青森縣陸奥國三戸郡切谷内村八十六番戸川崎平治外八十九名總代兼同縣同國同郡同村第百番戸平民農
原告 新井山德松

右原告新井山德松ヨリ被告青森縣陸奥國三戸郡川内村長大久保熊太郎ニ係ル村民一同ニ山林拂下ノ訴件ヲ訴狀ニ就テ審査スルニ

本訴ノ要旨ハ青森縣陸奥國三戸郡切谷内村大字大久木及高森ノ両山林ハ元ト村民ノ共有ナルヲ以テ原告ハ明治二十一年中農商務省ニ拂下ヲ請願シタル後其指令ハ青森縣廳ヲ經テ村役場ニ下付セラレタル由ニ付村役場ニ之ヲ請求シタルニ村役場ハ隱秘

シテ請求ニ應セス其後再ヒ農商務省ニ請願シ尋テ青森縣廳及郡役所ニ就キ其事實ヲ確メタルモ村役場ハ尙其指令書ヲ下付セサルニ依リ審理ノ上速ニ該山林ヲ拂下クヘキ様裁判ヲ仰クト云フニ在リト雖モ其山林拂下處分ニ關シテハ法律勅令ニ行政訴訟ヲ許スノ規定ナキヲ以テ之ヲ受理スルノ限ニアラス

右ノ理由ナルヲ以テ本件ハ行政裁判法第二十七條ニ據リ却下ス

明治二十五年十一月二十二日行政裁判所ニ於テ裁決ス

(十九) 營業免許拒否命令取消ノ件ニ對シ去月二十五日行政裁判所ニ於テ左ノ如ク判決セリ

○明治二十五年第二百二十四號

裁 決 書

兵庫縣水上郡佐治村之内佐治村百二十三番地平民農

原 告

中島 七右衛門

右原告中島七右衛門ヨリ被告農商務大臣伯爵後藤家二郎ニ對スル營業免許拒否ノ命令取消ノ件ヲ訴狀ニ就テ審査スルニ請求ノ要旨ハ原告ハ行政裁判所明治廿五年第卅四號判決ニ依リ職獸免狀ヲ受ル權利ヲ有シタレハ其事件ニ付關係ノ行政廳ヲ羈束スヘキ者ニシテ法律ヲ以テ改メサル限ハ行政上ノ命令ヲ以テ之ヲ奪フヘカラス然ルニ被告大臣ハ本年十月六日狩獵規則ヲ發布シ其第八條ニ於テ職獵免狀ヲ受タルコトヲ得サル者ノ制限ヲ設ケタルハ命令ヲ以テ法律ヲ變更シ原告カ保有セル銃獵營業權ヲ拒否毀傷シタル違法ノ處分ナリト云フニ在リトモ本件ハ被告カ行政處分ヲ以テ營業免許ヲ拒否シタルモノニアラサレハ明治二十三年法律第百六號第三項ニ依リ行政訟訴ヲ爲シ得ヘキ限ニアラス

右ノ理由ニ依リ行政裁判法第二十七條ニ依リ本訴狀ヲ却下ス

明治二十五年十一月二十五日行政裁判所ニ於テ裁決ス

(參照)

○明治二十三年(十月)法律第百六號 行政裁判所ニ出訴
スルコト得ル事件
三 營業免許ノ拒否又ハ取消ニ關スル事件

(二十) 村會議員投票効力有否ノ件ニ對シ去月二十四日行政裁判所ニ於テ左ノ如ク
判決セリ

○明治二十五年第六十號

裁判宣告書

福井縣越前國丹生郡志津村大森第八
號四番地平民農
原告 大森 蕃 立
同縣同國同郡同村瀧波第四十九號七
番地平民農
同 廣部 與右衛門
同縣同國同郡同村本折第六號二十六
番地
同 齋藤 五左衛門
東京市日本橋區西河岸町十七番地寄
留代言人

訴訟代理人 岡 田 泰 藏
福井縣越前國丹生郡志津村笹谷第四
十九號二十三番地平民農
原告 島 勝 應
同縣同國同郡同村同所第五十四號二
十番地平民農
同 渡 邊 茂 作
東京市京橋區日吉町二十一番地寄留
島根縣平民代言人
訴訟代理人 高 野 兵 太 郎
同市同區西紺屋町一番地代言人
同 鄉 津 友 彌
福井縣越前國丹生郡志津村長
被告 廣部 與三右衛門
同縣同國同郡同村清水畑第七十八號
七番地平民
補佐人 高 橋 庵
右原告大森蕃立外四名ヨリ被告村長廣部與三右衛門ニ係ルニ級選舉議員投票効力有否
爭ノ訴訟審理ヲ遂クル處
原告請求ノ要旨ハ明治二十五年六月福井縣參事會カ與ヘタル裁決ノ全部ヲ取消シ更

ニ同年四月本縣丹生郡志津村會二級議員半數改選ノ投票中渡邊嘉右衛門トアル八十
六票ハ無効ナルニ由リ大字上下天下渡邊嘉右衛門ノ當選ハ之ヲ取消サ、ルヲ得サルモ
ノニシテ被告ハ志津村内ニ渡邊嘉右衛門ナル同名ノ者兩名アルニモ拘ハラヌ單ニ
渡邊嘉右衛門トアルノミニノ上下天下ノ渡邊嘉右衛門ナルヤ將タ天下ノ渡邊嘉右衛
門ナルヤ確認シ難キ八十六票ノ投票ヲ上下天下渡邊嘉右衛門ノ得票十四票ニ加ヘテ之
ヲ當選者ト爲シタルハ町村制第二十三條第二項ニ左ノ投票ハ之ヲ無効トス被選人ノ
何人タルヲ確認シ難キモノトアル規定ヲ度外視シタル不法ノ選舉ナリ又本件ハ訴訟
ノ順序ヲ逐ヒ裁決ヲ仰キタルニ本縣參事會カ原告ノ訴訟ニ對シ一級選舉人カ二級選
舉ノ投票効力ノ有否ニ付參加シタルハ不法ナルヲ以テ之ヲ却下ストノ裁決ヲ與ヘタ
ルハ失當ノ裁決ナルニ依リ其裁決ヲモ取消シ及渡邊嘉右衛門トアル八十六票ノ投票
全體ヲ無効ナラシメ上下天下渡邊嘉右衛門ノ當選ヲ取消サ、ル可ラス又本件ハ彙キニ
訴訟ヲ提起シタルトキハ選舉全部ノ取消ヲ請求シタルニ依リ最初提出ノ訴狀ニ於テ

ルモ選舉全體取消ノ意味ヲ含蓄セリ而シテ今茲ニ追申書ヲ差出シタル所以ハ行政裁
判法第三十四條ニ依リ意ノ盡サ、ル所ヲ補足シタルモノニシテ單ニ渡邊嘉右衛門ノ
投票ヲ無効トセラレノコトヲ請フニ在ルモ其原因ヲ變更シタルモノニアラス又假リ
ニ一步ヲ讓リ之ヲ以テ原因ノ變更ナリトスルモ彙キノ訴訟ノ順序ヲ履マサレハ請求
スルヲ得サルモノト謂フ可ラス本訴ニ於テ縣參事會ノ裁決ヲ取消サレ及八十六票ノ
投票ヲ無効トセラレ上下天下渡邊嘉右衛門ノ當選ヲ取消サレタシト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ原告ハ志津村會議員選舉ノ際被選舉權ヲ有スル同名ノ渡邊嘉右
衛門ナル者兩名アリテ各投票中大字上下天下渡邊嘉右衛門ト肩書セシモノ十四票ト肩
書セサル投票八十六票アリ其肩書アル邊渡嘉右衛門ノ得票ハ僅ニ十四票ナルニモ拘
ハラヌ被告ハ之ヲ當選者ト決定シタルハ不當ノ處分ナレハ選舉全部ヲ取消スヘシト
ノ一定ノ申立ヲ以テ本訴ヲ提起シタル後更ニ渡邊嘉右衛門ニ對スル投票ノ無効ヲ請
求スルノ訴旨ニ之ヲ短縮シ追申書ヲ提出シテ其申立ヲ改メタリ然ルニ本件ハ訴狀ニ

モ明言スル如ク單ニ渡邊嘉右衛門ニ係ル投票一部ノ取消ニアラスシテ選舉全部ノ取消ヲ目的トシ且訴願ヲ經盡シ來リタルモノナレハ原告カ其追申ヲ以テ本訴ノ原因ヲ變更シタルモノト謂ハサルヲ得ス依テ其追申ニハ異議アルヲ以テ答辯スルノ限ニアラス本訴ハ却下アリタシト云フニ在リ

依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ審閱シ理由ヲ説明スル左ノ如シ

原告ハ追申書ヲ以テ一定ノ申立ヲ短縮シタルモ其原因ヲ變更シタルニアラス又假令之ヲ變更シタリトスルモ本件ハ更ニ訴願ヲ經ルヲ要セスシテ出訴スルヲ得ヘキモノナレハ不當ノ請求ニアラスト云フト雖原告カ發キニ訴願セシ目的ハ選舉ノ取消ヲ請求シタルニ在リ追申ノ主旨ハ投票無効ノ請求ヲ爲スニ在テ當初請求ノ目的ト全ク別異ナルニ依リ訴願ヲ經ルヲ要セサルモノト謂フヲ得ス即チ本件ハ法律上出訴ノ手續ヲ盡サハルモノナレハ受理スルノ限ニアラス
右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ

本訴ハ之ヲ棄却ス

訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

明治二十五年十一月二十四日行政裁判所公廷ニ於テ宣告ス

(廿一) 炭田借區不當許可取消請求ノ訴ニ係ル妨訴ノ抗辯ニ對シ去月二十五日行政

裁判所ニ於テ左ノ如ク判決セリ

○明治二十五年第八十一號

裁判宣告書

福岡縣筑前國福岡市上對馬小路七番
地士族

原告 今任亮太郎

東京市京橋區南紺屋町九番地士族代

言人

訴訟代理人

濱地 八郎

同市同區同町同番地平民

同

佐藤 直二郎

農商務大臣伯爵

被告

後藤 象二郎

農商務省試補

訴訟代理人

中村 清彦

右原告今任亮太郎ヨリ被告農商務大臣伯爵後藤象二郎ニ係ル炭田借區不當許可取消請求ノ訴ニ付被告代理人ハ妨訴ノ抗辯ヲ爲セリ依テ審理ヲ遂クル處

被告代理人妨訴ノ要旨ハ本訴ノ請求ハ福岡縣筑前國上坐郡寶珠山村大字福井ノ内小字土師並ニ同郡同村大字松末ノ内小字土師ノ兩地ニ於タル炭田四萬餘坪ニ付明治二十二年五月中ヨリ借區出願ノ準備ヲ爲シ明治二十三年八月二十六日ヲ以テ適法ナル

願書ヲ提出セリ然ルニ現借區人緒方安平ハ明治二十三年六月始メテ該炭田ニ關係シ改正坑法ノ要件ヲ具備シテ出願セシハ同年十月一日ナリ同人カ明治二十三年六月中ニ提出セル願書ハ不完全ナルニモ拘ハラズ被告カ右不完全ナル願書ノ爲メ先計畫者ニシテ先願者タル原告ノ出願ヲ排斥シテ後計畫ニシテ後願者タル緒方安平ニ借區ノ許可ヲ與ヘシハ日本坑法ニ背戾セル不當ノ處分ナリトシテ右許可ノ取消ヲ請求スルモノニシテ即チ原告ハ被告ノ事實認定ニ關スル錯誤若クハ法律適用ノ錯誤ヲ主張スルニ外ナラス然レトモ詐僞若クハ錯誤ニ由リテ借區ノ許可ヲ得タルコトヲ發見シタル場合ハ日本坑法第十款第五項若クハ鑛業條例第三十四條ニ依リ先ツ農商務大臣ニ對シテ其取消ヲ求メ之ニ對スル裁定ニ不服ナルトキニ至リ始メテ當法廷ニ出訴スルヲ得ルモノナリ要スルニ本件ハ原告カ法律ノ誤解ニ出テタルモノニシテ未タ出訴ノ權ナキモノナレハ原告ノ請求ヲ排斥セラレ度シト云フニ在リ
原告答辯ノ要旨ハ被告ハ緒方安平ニ借區ヲ許可セシハ詐僞又ハ錯誤ニ出テタルモノ

ナルヲ以テ鑛業條例第三十四條ニ依リ其取消ヲ農商務大臣ニ訴願シ同大臣ノ裁定ニ不服ナルトキ當廳ニ出訴スヘキカ當然ナル旨陳述スレトモ原告ニ於テハ農商務大臣ノ處分カ故意ニ出テタルモノナルカ將タ錯誤ナルカノ申立ヲ爲シタルコトナシ兎ニ角原告ニ許可スヘキヲ緒方安平ニ許可セシハ不當ナリ右ニ付原告ハ屢々願ノ旨趣ヲ書キ出シアレハ錯誤ナルカ否ノ事實ハ詳悉ノ上許可ヲ與ヘラレタルモノナレハ最早農商務大臣ニ其取消ヲ求ムルモ詮ナク又同大臣ニ對シ其取消ヲ求ム得ヘキモノニアラス殊ニ鑛業條例第三十四條ハ狹義ニ解釋スヘキモノニ非スト思料スルヲ以テ本訴ヲ提起シタリト云フニ在リ

依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ書類ヲ檢閲シ理由ヲ説明スル左ノ如シ

原告ニ於テ本件ハ出訴前先ツ農商務大臣ニ前許可ノ取消ヲ求ムルモ詮ナク又之ヲ求メ得ヘキモノニアラス鑛業條例第三十四條ハ狹義ニ解釋スヘキモノニ非スト云フト雖其事實ハ原告ニ許可スヘキ借區ヲ緒方安平ニ許可シタルヲ不當ナリトスルモノナレハ即

チ被告ノ錯誤ニ出テタルコトヲ發見セシモノト謂ハサルヲ得ス依テ原告ハ日本抗法第十款第五項若クハ鑛業條例第三十四條ノ規定ニ從ヒ先ツ前許可ノ取消ヲ農商務大臣ニ要求シ其指令又ハ裁定ヲ受ケタル後ニアラサレハ本訴ヲ提起スルヲ得サルモノトス

右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ

本訴ハ之ヲ棄却ス

訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

明治二十五年十一月二十五日行政裁判所公廷ニ於テ宣告ス

(參照)

○日本抗法

第十 (摘要)

試掘人又ハ借區人ノ得タル試掘又ハ借區ノ許可詐偽又ハ錯誤ニ由リタルコトヲ發見シタルトキハ農商務大臣ハ其許可ヲ取消スヘシ若シ其許可ニ就キ利害ノ關係ヲ有スル者ニ於テ發見シタルトキハ之ヲ農商務大臣ニ申立共取消ヲ請求スルコトヲ得(第四項)

前項ノ場合ニ於テ農商務大臣ノ指令ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

○鑛業條例

第三十四條 詐偽又ハ錯誤ニ由リ採掘ノ特許ヲ得タルコトヲ發見シタルトキハ農商務大臣ハ其ノ特許ヲ取消スヘシ若シ其ノ特許ニ付利害ノ關係ヲ有スル者ニ於テ之ヲ發見シタルトキハ其ノ關係ヲ有スル者ハ特許ノ日ヨリ三十日以内ニ採掘特許ノ取消ヲ農商務大臣ニ訴願スルコトヲ得
前項農商務大臣ノ裁定ニ不服アル者ハ其ノ裁定ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

(廿二) 違法處分取消ノ件ニ對シ去月三十日行政裁判所ニ於テ左ノ如ク判決セリ

○明治二十五年第三百三十一號

裁 決 書

静岡縣有渡郡清水町清水受新田三百

七十一番地東海セメント會社々長

原 告 福 田 豊 治 郎

東京市京橋區西紺屋町一番地寄留士

族代言人

訴訟代理人 磯 部 四 郎

東京市神田區七軒町十五番地寄留平

民代言人

同 平 井 恒 之 助

右原告福田豊治郎ヨリ内務大臣伯爵井上馨ニ對スル違法處分取消ノ訴狀ニ就キ審査ヲ遂クル處

原告請求ノ要旨ハ明治二十三年四月以來「ボートランドセメント」製造販賣ヲ營業ト爲シ明治二十五年十月四日臨時橫濱築港用ノ「セメント」七千噸ヲ購買スルトノ報ニ接シ十月三日入札加入ノ旨ヲ同局ニ要請セシニ願書採用相成爾後入札當日ニ近ツクモ官報其他新聞紙等ヲ以テ購入ノ旨公告之レナク翌十月四日突然法定ノ手續則チ公告シテ競争ニ付スルノ方案ヲ廢止シ淺野總一郎ト隨意契約ヲ締結シテ需用ニ充タスコトニ決定シタル由ヲ聞キ十月五日築港局ニ出頭眞否ヲ確カメシニ果セルカナ築港

局ハ曩ニ一旦採用シタル願書ヲ却下シ需用品七千噸ハ淺野總一郎ヲシテ供給セシムルノ隨意契約ヲ締結シ現時物件ノ授受ヲモ將サニ結了セントスルモノナレトモ原告會社ハ明治二十二年四月三十日勅令第六十號會計規則第六十九條ノ要求スル資格ヲ得有シ從テ同年法律第四號會計法第八章第二十四條ノ保護ヲ享受セラルヘキモノナレハヨソ入札加入ヲ出願シタル次第ナリ同條ニ法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付ス可シ云々トアリテ築港局ハ同條但書第一項ヨリ第十四項ニ明記シアル場合ノ外ハ必ス公告シテ競争ニ付セサル可カラズ然ルニ築港局ハ該法律ヲ度外視シ寸毫ノ公告ヲモセス私カニ淺野總一郎ト隨意契約ヲ締結セシ如キハ違法ノ行爲タル容疑ス可カラサル義上確信ス故ニ原告カ法律規則ニ因テ得タル權利ヲ蹂躪セラレ之レカ救済ヲ訴求スルモノナレハ會計法ニ違反スル該處分ノ取消シ相成リタリト言フニ在レトモ本件ハ法律勅令ニ行政裁判所ニ出訴ヲ許シタルモノニアラサルカ故ニ原告ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルモ

ノトス

右ノ理由ナルヲ以テ行政裁判法第二十七條ニ依リ之ヲ却下ス

明治二十五年十一月三十日行政裁判所ニ於テ裁決ス

(參照)

○會計法

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意ノ約束ニ依ルコトヲ得ヘシ

第一 一人又ハ一會社ニテ專有スル物品ヲ買入レ又ハ借入ルトキ

第二 政府ノ所爲ヲ秘密ニスヘキ場合ニ於テ命スル工事又ハ物品ノ賣買貸借ヲ爲ストキ

第三 非常急遽ノ際工事又ハ物品ノ買入借入ヲ爲スニ競争ニ付スル暇ナキトキ

第四 特種ノ物質又ハ特別使用ノ目的アルニ由リ生産製造ノ場所又ハ生産者製造者ヨリ直接ニ物品ノ買入ヲ要スルトキ

第五 特別ノ技術家ニ命スルニ非サレハ製造シ得ヘカラサル製造品及機械ヲ買入ルトキ

第六 土地家屋ノ買入又ハ借入ヲ爲スニ當リ其ノ位置又ハ構造等ニ限アル場合

第七 五百圓ヲ超エサル工事又ハ物品ノ買入借入ノ契約ヲ爲ストキ

第八 見積價格二百圓ヲ超エサル動産ヲ賣拂フトキ

第九 軍艦ヲ買入ルトキ

第十 軍馬ヲ買入ル、トキ

第十一 試験ノ爲ニ工作製造ヲ命シ又ハ物品ヲ買入ル、トキ

第十二 慈惠ノ爲ニ設立セル教育所ノ貧民ヲ備役シ及其ノ生産又ハ製造物品ヲ直接ニ買入ル、トキ

第十三 囚徒ヲ備役シ又ハ囚徒ノ製造物品ヲ直接ニ買入ル、トキ及政府ノ設立ニ係ル農工業場ヨリ直接ニ其ノ生産又ハ製造物品ヲ買入ル、トキ

第十四 政府ノ設立シタル農工業場又ハ慈惠教育ニ係ル各所ノ生産製造物品及囚徒ノ製造物品ヲ賣拂フ

○會計規則

第六十九條 工事又ハ物品供給ノ競争ニ加ハラントシ若クハ其契約ヲ結ハントスル者ハ其工事又ハ物品ノ供給ニ二年以來從事スルコトヲ證明スヘシ

工事又ハ物品供給ノ競争ニ加ハラントシ若クハ其契約ヲ結ハントスル者ハ現金又ハ公債證書ヲ以テ保證金ヲ納ムヘシ

(廿三) 借區許可取消ノ指令廢棄及借區取消ノ訴件ニ關スル中間判決ノ申請ニ對シ

本月五日行政裁判所ニ於テ左ノ如ク判決セリ

○明治二十五年第七十一號

裁判宣告書

東京市芝區三田四丁目三十六番地平

民雜業

原告 岡田平太郎

同市同區同町同番地平民雜業

同 濃泉勝三郎

東京市淺草區左衛門町一番地平民代

言人

訴訟代理人 高梨哲四郎

同市日本橋區村松町十三番地代言人

同 熊谷寛治

農商務大臣

被告 伯爵後藤象二郎

農務省參事官

訴訟代理人

原

龜太郎

右原告岡田平太郎外一名ヨリ被告農商務大臣伯爵後藤象二郎ニ係ル借區許可取消ノ指令廢棄及借區取消ノ訴訟ニ付原告訴訟代理人ヨリ被告訴訟代理人ノ答辯ニ對シ中間判決ヲ申請セリ依テ審理ヲ遂クル處

原告訴訟代理人申請ノ要旨ハ被告カ抗辯ノ理由トスル所ハ本件ハ再審ニ係ルモノナリ又原鑛山ノ引合モ數年ヲ經過シ行政處分確定ノ今日ニ在リテハ出訴スルノ權利ナク又明治二十五年七月十三日ヲ以テ被告農商務省カ原告等ニ與ヘタル裁定ハ本案ノ裁定ヲ爲シタルモノナリト云フニ在ルモ其裁定書ニハ錯誤ヲ理由トシテ借區許可ノ取消ヲ請求スルヲ得サルモノトストアリテ本案ノ裁定ヲ爲シタルモノト認ムヘカラス此點ノ事實確定セサル限ハ原告ハ進ノテ辯論ヲ爲スヲ得サルニ依リ其裁定書ノ第二項ハ果シテ本案ノ裁定ヲ爲シタルモノナルヤ否ク點ニ付中間ノ判決ヲ受ケ度シト

云フニ在リ

被告訴訟代理人答辯ノ要旨ハ原告訴訟代理人ヨリ本案借區許可取消ノ指令廢棄及借區取消ノ訴訟ニ付中間判決ノ申請ヲ爲シタルニ依リ本爭論ハ原告カ獲ニ被告農商務大臣ニ申立タル繼年期許可取消指令ノ廢棄並借區許可取消ノ請求ニ對シ同大臣ハ本案ヲ審理シタルヤ否ク點ニ歸著セリ然レトモ今茲ニ被告農商務大臣カ明治二十五年七月十三日付ヲ以テ原告ニ與ヘタル裁定書ニ對シ本案ヲ審理シタルモノナルヤ否クヲ定ムルトキハ本件ニ於ケル唯一ノ係爭點ヲ決スルモノニシテ直チニ前裁定書ヲ取消スヘキヤ否クヲ決スルコトヲ得ヘシ即チ本案ニ對シ裁定ヲ與ヘタルモノナルヤ否クハ終極判決ノ唯一理由トナルヘキモノニシテ中間判決ノ目的トナルヘキ事項ニ非ヌ要スルニ此問題ノ決スルトキハ他ニ爭點ナキニ依リ更ニ本案ノ裁判ヲ仰クヘキ事項ナキニ至ルヘシ故ニ被告ハ其中間判決ノ申請ニ對シ異議アルモノナレハ速ニ之ヲ棄却セラレ度シト云フニ在リ

依テ雙方ノ陳述ヲ聽キ證據ヲ審閱シ理由ヲ説明スル左ノ如シ
 原告訴訟代理人ハ被告農商務大臣カ發ニ原告ニ與ヘタル裁定書ニハ其第二項ニ錯誤ナルヲ理由トシテ借區許可ノ取消ヲ請求スルヲ得サルモノトストアリテ本案ノ裁定ヲ爲シタルモノニアラス此事實ノ確定セサル限ハ進シテ辯論ヲ爲スヲ得サルニ由リ被告カ主張スル如ク本案ノ裁定ヲ爲シタルモノナルヤ否ノ點ニ付中間判決ヲ申請スト云フト雖モ抑原告カ本件ノ要求タルヤ義ニ日本坑法第十款第五項ニ依リ被告農商務大臣ニ指令及借區許可ノ取消ヲ請求シタルニ當リ被告大臣ハ本案ノ審理ヲ爲サ、ルモノトシテ更ニ本案ニ對スル裁定ヲ得ントスルモノナレハ今茲ニ其裁定ノ點ニ付判決ヲ與フルトキハ直チニ其判決ニ依リ本案ノ爭點ヲモ決スルノ結果ヲ生スヘキモノニシテ要スルニ中間判決ヲ求ムヘキ理由ナキモノナルニ依リ原告ノ申請ハ採用スヘキ限ニアラス右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ
 原告ノ申請ハ之ヲ棄却ス

此裁判ニ關スル費用ハ原告ノ負擔トス

明治二十五年十二月五日行政裁判所公廷ニ於テ宣告ス

(參照)

○日本坑法

第十 (二十一)ノ(參照)ニ出ツ

(廿四) 勸業補助費支出案決議不認可ニ關スル件ニ對シ本月六日行政裁判所ニ於テ左ノ如ク判決セリ

○明治二十五年第二百二十九號

裁 決 書

熊本縣肥後國玉名郡南關町會議長

原 告

浦 部 謙 次 郎

右原告南關町會議長浦部謙次郎ヨリ被告玉名郡長新美吉孝ニ對スル勸業補助費支出

案決議不認可ニ關スル件ヲ訴狀ニ就テ審査スルニ明治二十五年八月十一日ヲ以テ基本財産ノ内現金一千四百六十九圓餘ヲ勸業費補助トシテ支出スル町會決議ノ件ニ付被告カ不認可ノ命令ヲ下シタルハ違法ニシテ基本財産ノ程度如何處分如何ヲ定ムルコトハ原告町カ法律上有スル權限ナルヲ以テ之カ監督者タル被告ニ於テハ違法ノ時ニ非サレハ之ヲ拒絕スルノ權ナキモノニ付之カ認可ヲ與ヘサルハ不法越權ナルヲ以テ被告カ原告ニ下シタル不當命令ヲ取消シ速ニ認可ヲ與フル様裁判アラソコトヲ訴求スルニ在リト雖トモ町會ノ決議ニ對シ監督廳カ不認可シタル場合ニ於テ法律勅令中行政訴訟ヲ提起シ得ルノ規程ナキヲ以テ本件ハ出訴スルヲ得ヘキ限ニ非ラス

右ノ理由ナルヲ以テ本件ハ行政裁判法第二十七條ニヨリ之ヲ却下ス

明治二十五年十二月六日行政裁判所ニ於テ裁決ス

(廿五) 勸業費支出案決議不認可ニ關スル件ニ對シ本月六日行政裁判所ニ於テ左ノ如ク判決セリ

○明治二十五年第三百三十號

裁 決 書

熊本縣肥後國玉名郡春富村會議長

原 告

神 原

護

右原告春富村會議長神原護ヨリ被告玉名郡長新美吉孝ニ對スル勸業費支出案決議不認可ニ關スル件ヲ訴狀ニ就テ審査スルニ明治二十五年八月十六日ヲ以テ基本財産金千二百六十九圓餘ヲ勸業費トシテ支出スル村會決議ノ件ニ付被告カ不認可ノ命令ヲ下シタルハ違法ニシテ基本財産ノ程度如何處分如何ヲ定ムルコトハ原告村カ法律上有スル權限ナルヲ以テ之カ監督者タル被告ニ於テハ違法ノ時ニ非サレハ之ヲ拒絕スルノ權ナキモノニ付之カ認可ヲ與ヘサルハ不法越權ナルヲ以テ被告ニ下シタル不當命令ヲ取消シ速ニ認可ヲ與フル様裁判アラソコトヲ訴求スルニ在リト雖村會ノ決議ニ對シ監督廳カ不認可シタル場合ニ於テ法律勅令中行政訴訟ヲ提起シ得ルノ規程ナ

キヲ以テ本件ハ出訴スルヲ得ヘキ限ニアラス

右ノ理由ナルヲ以テ本件ハ行政裁判法第二十七條ニ依リ之ヲ却下ス

明治二十五年十二月六日行政裁判所ニ於テ裁決ス

(廿六) 町會決議權回復ノ件ニ對シ昨年十二月二十三日行政裁判所ニ於テ左ノ如ク

判決セリ

○明治二十五年第六十八號

裁判宣告書

香川縣多度郡多度津町々會議長

原告

三重鑑太郎

香川縣知事

被告

谷森眞男

右原告多度津町々會議長三重鑑太郎ヨリ被告香川縣知事谷森眞男ニ對スル町會決議權

回復ノ訴文書ニ就キ審理ヲ遂クル處

原告訴求ノ要旨ハ多度津町會議員米谷榮治鹽田政之助山地善吉ノ三名ハ明治二十四
年九月七日ヨリ以降同年十二月二十二日ニ至ル一百餘日中議事十三回ノ招集ニ對シ
疾病若クハ一身ノ事故ヲ以テ甲第一號證ノ如ク一回モ議席ニ出テサルニ付多度津町
會ハ明治二十五年一月十八日議會ヲ開キ審議ノ末右三名ハ虛欺ノ疾病一私ノ事故ニ
假托シ公義務ヲ盡サス其所爲町村制第八條第三項中其職務ヲ執行セサルノ責アルモ
ノト爲シ多度津町公民タルノ權利ヲ四箇年間停止シタリ然ルニ米谷榮治外二名ハ右
ノ決議ニ服セス郡長高島光太郎ニ訴願セシニ郡長ハ町會ノ議決ヲ取消シ米谷榮治外
二名ハ公務ニ堪ヘサル程ノ病氣ニアラサル限リハ容易ニ退職セシムルヲ得ストノ裁
決ヲ爲セリ而シテ原告ハ此裁決ニ服セス更ニ香川縣知事ニ訴願セシカ縣知事ハ郡長
裁決ノ理由ヲ是認シタリ依テ本訴ヲ提起シ多度津町會ノ決議ノ回復ヲ求ムト云フニ
在リ

被告答書ノ要旨ハ本知事カ與ヘタル裁決ハ町村制第八條ニ依リ訴願ノ階級ニ於テ復審權ヲ行フタルモノニシテ直接ニ知事ノ處分ヲ爲シタルモノニアラサレハ本知事ハ法律上被告トシテ訴ヘラル、ノ理由ナシ依テ本案ニ對シ答辯スヘキ義務ナキヲ以テ本訴ノ却下ヲ請求スト云フニ在リ

依テ證據ヲ閱シ理由ヲ説明スル左ノ如シ

原告ハ多度津町會ハ明治二十五年一月十八日ヲ以テ米谷榮治外二名ニ對シ町村制第八條ニ依リ公民權四箇年停止ノ旨ヲ議決シタリ然ルニ米谷榮治外二名ハ之ニ服セス多度郡長ニ訴願シ郡長ハ町會ノ議決ヲ取消シタルニ依リ原告ヨリ香川縣知事ニ訴願セシニ縣知事ハ原告ノ請求相立タスト裁決セルカ故ニ更ニ町村制第八條ニ依リ本訴ヲ提起スト云フト雖町村制第八條ハ其第三項ニ依リ町村會ノ議決ヲ以テ公民權ヲ停止セラルレ町村費ノ増課ヲ受テタル者其議決ニ不服ナルトキ郡參事會府縣參事會ニ訴願シ及ヒ行政裁判所ニ出訴スルヲ得ヘキ規定ニシテ町村會ヨリ訴願若クハ出訴ヲ爲スヲ許シタルモ

ノニアラス即チ本件ハ原告町會議長カ縣知事ノ裁決ニ對シ出訴スルモノナレハ之ヲ受理スルノ限ニアラス

右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ

本訴ハ之ヲ棄却ス

訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

明治二十五年十二月二十三日行政裁判所公廷ニ於テ宣告ス

(參照)

○町村制

第八條 凡町村公民ハ町村ノ選舉ニ參與シ町村ノ名譽職ニ選舉セラル、ノ權利アリ又其名譽職ヲ擔任スルハ町村公民ノ義務ナリトス

左ノ理由アルニ非サレハ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職スルコトヲ得ス

- 一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者
- 二 營業ノ爲メニ常ニ其町村内ニ居ルコトヲ得サル者
- 三 年齡六十歳以上ノ者
- 四 官職ノ爲メニ町村ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者

五 四年間無給ニシテ町村吏員ノ職ニ任シ爾後四年ヲ經過セサル者及六年間町村議員ノ職ニ居リ爾後六年ヲ經過セサル者

六 其他町村會ノ議決ニ於テ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ若クハ無任期ノ職務ヲ少クモ三年間擔當セヌ又ハ其職務ヲ實際ニ執行セサル者ハ町村會ノ議決ヲ以テ三年以上六年以下其町村公民タルノ權ヲ停止シ且同年期間其負擔ス可キ町村費ノ八分一乃至四分一ヲ増課スルコトヲ得

前項町村會ノ議決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ議決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ議決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

(廿七) 村會議員不正選舉取消ノ件ニ對シ昨年十二月二十日行政裁判所ニ於テ左ノ

如ク判決セリ

○明治二十五年第一百十八號

裁 決 書

群馬縣上野國邑樂郡小泉村々長

原 告

若 旅 八 九 郎

東京市京橋區南鍋町二丁目五番地

出張代言人

訴訟代理人

岡 村 輝 彦

同市同區同町同番地出張代言人

同

瀬 下 清 通

右原告小泉村長若旅九八郎ヨリ被告木村春吉外一名ニ對スル村會議員不正選舉取消ノ訴願ニ對スル縣參事會カ與ヘタル裁決不服ノ訴ヲ訴狀ニ就キ審査スルニ

原告請求ノ要旨ハ被告カ明治二十五年四月九日十日ノ兩日ニ執行シタル群馬縣邑樂郡小泉村々會議員選舉ヲ以テ成規ニ違背シタル不正ナルモノト爲シ之レカ取消ヲ訴願セルモノニシテ村會及郡參事會ノ裁決ヲ經タル後遂ニ縣參事會ノ職務ヲ行フ群馬縣知事ハ明治二十五年十月六日ヲ以テ被告訴願ノ趣旨ヲ採用シ該選舉會ヲ取消ストノ裁決ヲ與ヘラレタルニ依リ更ニ行政裁判所ニ出訴シ小泉村々會議員選舉會ハ町村制ノ規定ニ違背シタルモノニアラストノ裁判ヲ請フト云フニ在リテ本件ハ町村制三

十七條ニ依リタル訴訟ニ屬スルモ村長トシテ村内ノ人民ヲ被告トシテ出訴スルヲ得
ヘキモノニアラス

右ノ理由ナルニ依リ行政裁判法第二十七條ニ依リ本訴狀ヲ却下ス

明治二十五年十二月二十日行政裁判所ニ於テ裁決ス

(參照)

○町村制

第三十七條 (八)ノ(參照)ニ出ツ

(廿八) 認可取消請求ノ件ニ對シ左ノ如ク判決セリ

○明治二十五年第四百十六號

裁 決 書

富山縣婦負郡八尾町大字八尾西町二

千二百五十六番地平民商林昌作外五

名訴訟總代

富山縣婦負郡卯花村大字下笹原村五

千百三十二番地平民商

原 告

青 山 秀 次 郎

右原告林昌作六名ヨリ被告岐阜縣知事小崎利準ニ對スル認可取消請求ノ訴ヲ訴狀ニ就
キ審理スル處

原告訴求ノ要旨ハ明治二十五年三月被告ノ認可セシ岐阜縣美濃國蠶絲業組合取締所
規約蠶種検査規程第八條同第九條及同縣飛驒國蠶絲業組合取締所規約蠶種検査規程
第四條同第九條及取締所規約附則第三章第十六條ノ各條ハ他國ノ行商者ヲ羈束スル
不當ノ認可ナルヲ以テ該認可ノ取消ヲ請フト云フニ在リト雖本件ハ法律勅令中行政
訴訟ヲ許スノ規定ナキニ依リ出訴スルヲ得ルノ限ニアラス

右ノ理由ナルヲ以テ行政裁判法第二十七條ニ依リ本訴ハ之ヲ却下ス

明治二十五年十二月二十八日行政裁判所ニ於テ裁決ス

(廿九) 町會議員選舉ニ關スル不當裁決取消ノ訴ニ係ル妨訴ノ抗辯ニ對シ昨年十二

月二十六日行政裁判所ニ於テ左ノ如ク判決セリ

○明治二十五年第百十三號

裁判宣告書

巖手縣膽澤郡水澤町鹽竈九十番戶平民

原告 齋藤 潔

外二名

東京府荏原郡世田ヶ谷村池尻四百十七

番地池上一重方寄留巖手縣平民農

訴訟代理人 阿部 彝 德

巖手縣膽澤郡水澤町鹽竈五百六十七番

戶平民農

同 今野 東 吾

同縣同郡同町鹽竈八百八十番戶平民商

同 松本 治 右衛門

巖手縣知事

被告 服部 一 三

巖手縣屬

訴訟代理人 野 間 要

右原告齋藤潔外二名ヨリ被告巖手縣知事服部一三ニ對スル町會議員選舉ニ關スル不當裁決取消ノ件ニ對シ被告ハ妨訴ノ抗辯ヲ爲セリ依テ之ヲ審理スルニ

被告妨訴ノ要旨ハ原告ハ明治二十五年四月二十日ヲ以テ舉行シタル水澤町々會議員半數改撰二級選舉ノ取消ヲ請フモノナントモ抑町村會議員ノ撰舉ハ町村制ノ規定ニ依リ町村長之ヲ行フヘキモノナレハ其之ヲ取消シ更ニ撰舉ヲ行フコトモ亦固ヨリ町

村長ノ職務ニシテ其他ニ之カ執行者ナルモノ之レアラヌ即チ撰舉ノ當務者ハ町村長
 ナルカ故ニ町村會議員撰舉ノ効力ニ關シ撰舉人ヨリ提起スル訴訟ノ對手人タルヘキ
 モノハ必常ニ其當務者ナル町村長タラサルヘカラサルヤ疑ノ容ルヘキモノナキナリ
 然ルニ被告カ縣參事會ノ資格ヲ以テ爲シタル訴願ノ裁決ヲ不法ナリトシ其撰舉ノ當
 務者ヲ措キ被告ニ對シテ本訴ヲ提起シタルハ全ク其對手人ヲ誤レルモノナルニ付被
 告ハ答辯ノ責勝ヲ負ハス且原告訴狀訂正届ヲ見ルニ本訴ノ撰舉會ノ取消ヲ請求スル
 ノ目的ナリシニ撰舉會ニ關スル不當裁決ノ取消ヲ請求スト訂正セシハ訴訟ノ目的ヲ
 變更シタルモノナレハ該訂正届ハ受理セラルヘキモノニ非スト云フニ在リ
 原告答辯ノ要旨ハ被告ノ妨訴抗辯ハ原告ノ請求以外ニ涉ルモノニシテ原告訴訟ノ本
 旨ニ背反スル抗辯ナレハ直チニ排斥アラノ事ヲ請求ス又被告ハ縣參事會ヲ被告ト爲
 スヘキ者ニアラスト主張スレトモ原告ニ於テハ處分者即チ裁決ヲ爲シタル縣知事ヲ
 對手人トスルハ至當ノ事ト思料セリ又被告ハ原告一定ノ申立中訂正届ヲ受理相成ラ

サル様申立レトモ行政裁判法第三十四條ニ原告被告及第三者ハ事實上及法律上ノ點
 ニ就キ文書ニ盡サ、ル所ヲ補足シ又ハ誤謬ヲ更正シ云々トアルニ依リ訂正シタルモ
 ノニシテ該文字ヲ挿入セサレハ文章ヲ爲サ、ルカ故ナリ且被告ハ答辯書ノ標目ニ町
 會議員撰舉ニ關スル不當裁決取消ノ訴ト掲ケタレハ裁決取消ノ訴タル事ハ被告自身
 ニ於テモ認ムル所ニシテ原告ノ訂正届ハ決テ訴訟ノ原因ヲ變更シタルモノニアラス
 ト云フニ在リ

依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件ハ原告カ訴狀中一定ノ申立訂正届ヲ爲シタルハ訴ノ原因ヲ變更シタルモノナルヤ
 否ヤ決定スルヲ必要トス而シテ該訂正届ハ訴狀中本件撰舉會ノ取消ヲ請フ者ナリトア
 ルヲ撰舉會ニ關スル不當裁決ノ取消ヲ請フ者ナリト爲シタル者ニシテ原告ハ此訂正ヲ
 以テ脱漏シタル文字ヲ挿入シタルモノナリト云フト雖撰舉會ノ取消ヲ請求スルト縣知
 事ノ裁決取消ヲ請求スルト縣知事ノ裁決取消ヲ請求スルトハ全然目的ヲ同クセス隨テ

訴訟ノ結果ヲ異ニスル者ナルニ依リ文書ヲ補足シタルモノト認ムヘカラス故ニ原告ノ訂正届ハ訴ノ原因ヲ變更シタルモノニアラスト謂フヲ得ス其他妨訴ノ當否ニ關シテハ必要ナラサルヲ以テ之カ説明ヲ與ヘス

右ノ理由ナルニ依リ判決スルコト左ノ如シ

本訴ハ之ヲ棄却ス

訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

明治二十五年十二月二十六日行政裁判所公廷ニ於テ宣告ス

(參照)

○行政裁判法

第三十四條 審廷ニ於テハ原告被告及第三者ノ辯明ヲ聽クヘシ
審廷ニ於テハ裁判長ノ許可ヲ得タル者ヨリ順次發言スヘシ
原告被告及第三者ハ事實上及法律上ノ點ニ就キ文書ニ盡サザル所ヲ補足シ又ハ誤謬ヲ更正シ若クハ新ニ證據ヲ提出シ及證書ヲ提示スルコトヲ得

23/6/35

明治二十七年六月一日印刷

定價金二十錢

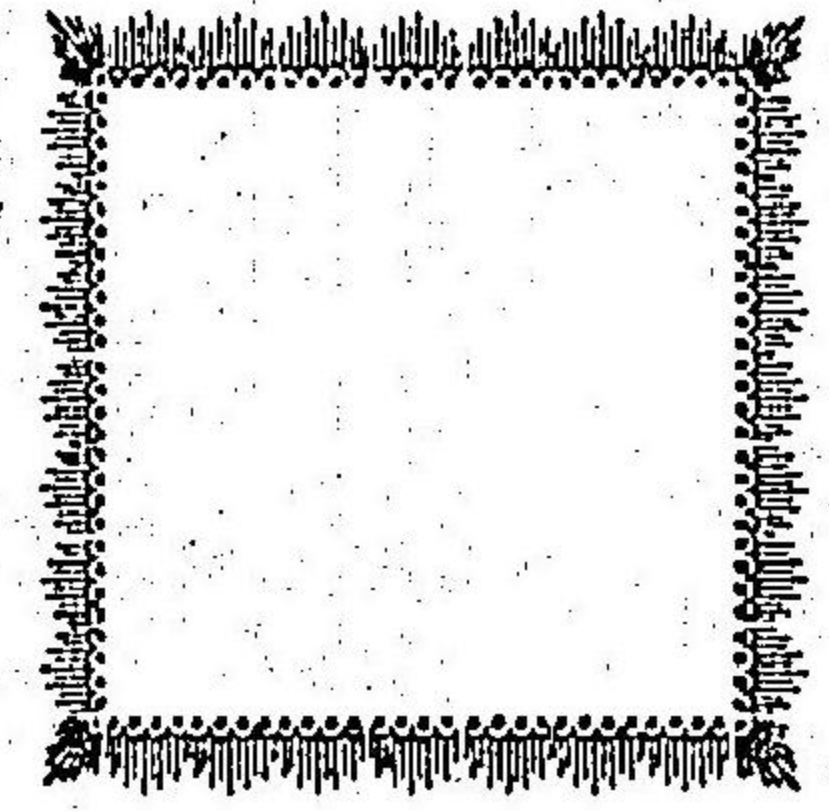
明治二十七年六月六日發行

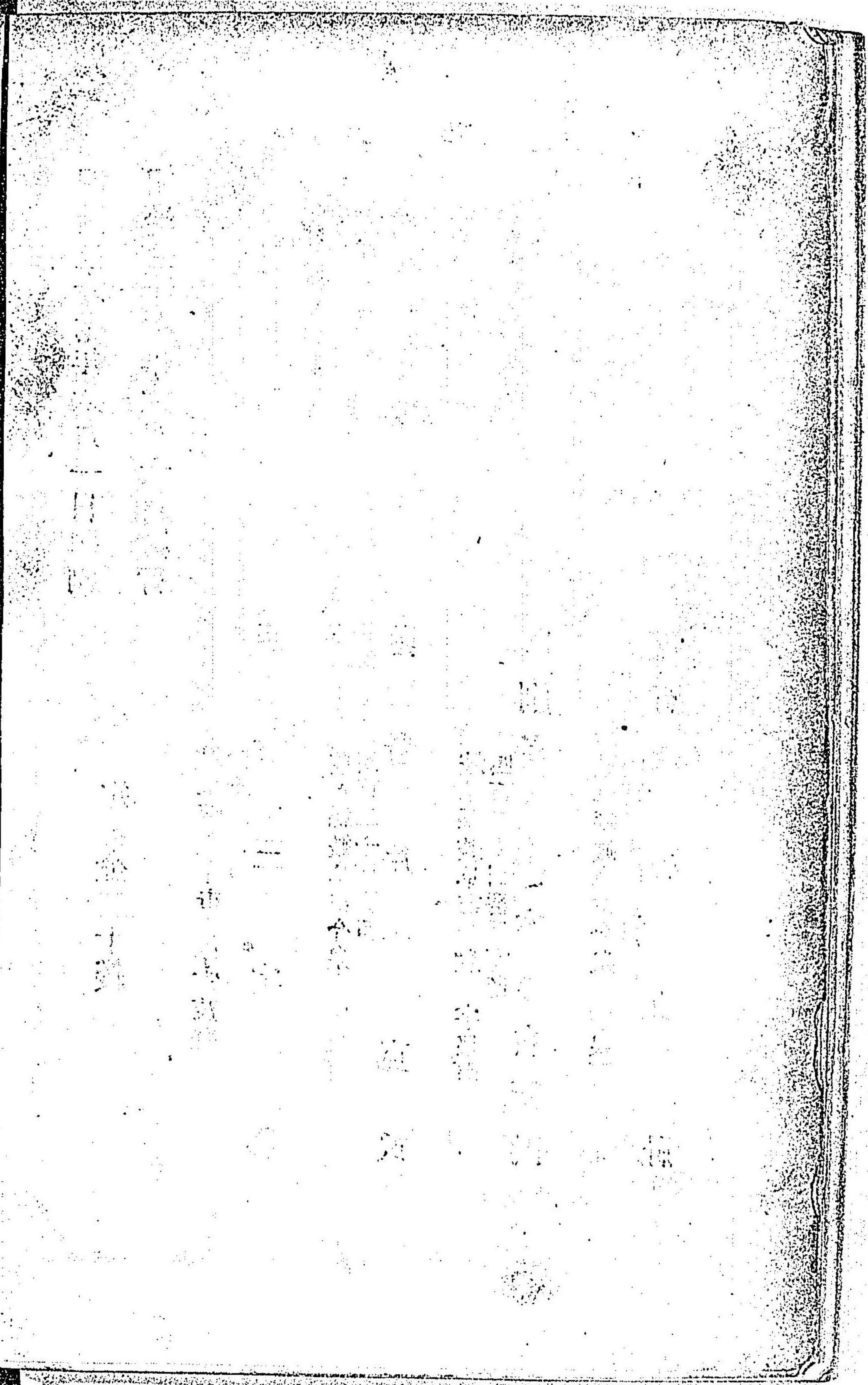
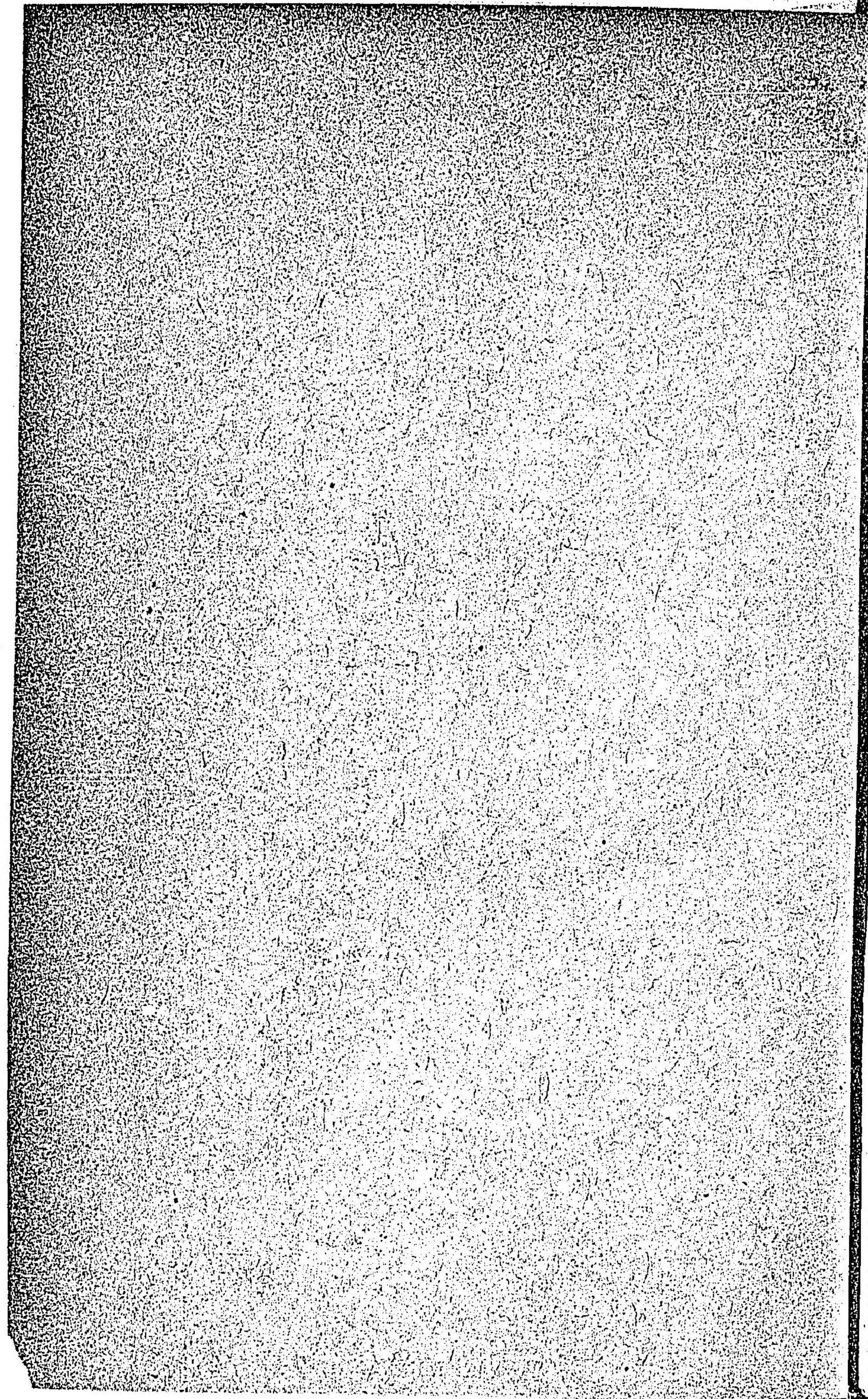
著者 岐阜縣岐阜市大字富茂登 四十八番戶 三宅 彰

發行者 岐阜縣岐阜市今泉大字泉町 四百二十四番戶 片山 克武

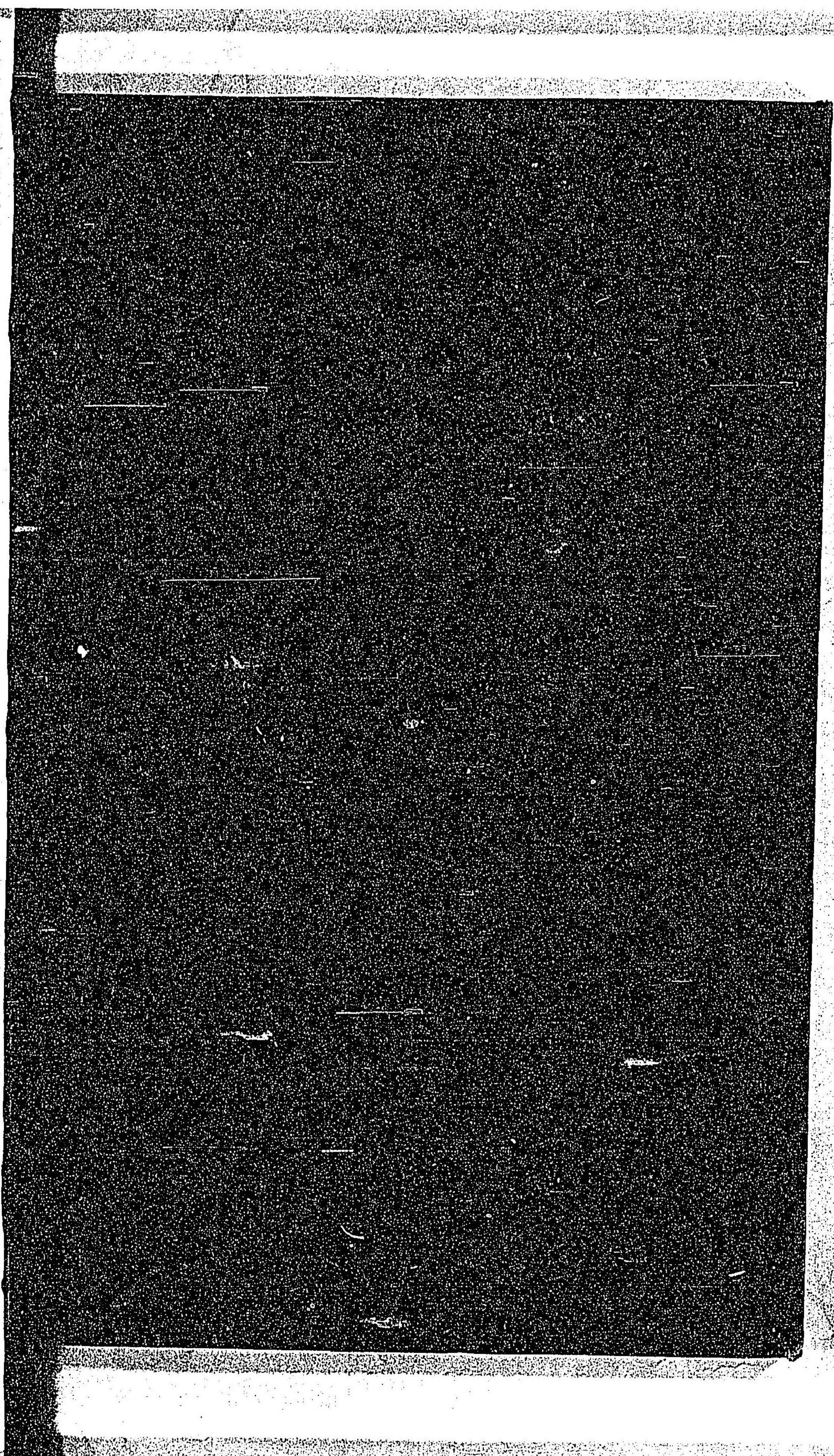
印刷者 岐阜縣岐阜市今泉大字泉町 四百二十四番戶 寄留 山本 彦右衛門

發行所 岐阜縣岐阜市今泉大字泉町 四百二十四番戶 啓文社





72
2
73



72

73

禁電子式複写

